

辰巳会館便り

足立せつ

この度は欠席させて頂きまず次回を楽しみにして居ります。

有賀美智子

昨年五月、主人故有賀一郎(当時米星煙草産業(株)取締役)の太平洋丸での殉職の四十三回忌にあたり、たまたま長崎市大蓮寺に太平洋丸殉職者の記念碑のあることを知り、このお寺で法事を営みまして。お蔭様で私も子息四人共元気で目下孫は六人です。

国民生活センターの会長や、技術移転の国際団体の会長を仰せつかるかたわら、米、欧、日の独禁法の勉強を企業の方々といたしてあります。この関係で年に海外に五、六回行って居ります。

井上好正

健康の都合上欠席させて頂きまず。御盛会を心からお祈りします。

させて頂きました。高畑誠一様の別荘が六甲山上にありました折、奥様とそこから歩いて有馬に参り、元湯に入りました事がありましてそれだけの有馬の記憶でしたので本当に驚きました。宿の方方も大変気を使って頂きました。

扱、帰りの芦屋迄のバスで、新日本金属化学の柴田健様にはじめお目にかかり偶然、私と同じ岡本にお住いになり、昔の親友の弟様で且つ、宅の長男と甲南高校時代ののお友達であったことが判明、大変嬉しく有難うございました。

越智 栄

大変残念乍ら差支えあり出席出来ません。あしからずお許し下さい。御盛会を祈上げます。

小野晶子

何時もお世話になり心から感謝致して居ます。親戚の結婚式がありますので失礼させて頂きます。

加藤福雄

残念乍ら欠席致しますが御盛会

飯高奈津

今度こそと楽しみに致して居りましたのに、又先日胸と頭を強く打ち、起きられなくなってしまうました。皆様によりしくお伝え下さい。

磯長武雄

全国大会の御案内に接し皆様の御骨折りを深謝致します。又貴誌「たつみ」を拝見して、その出来栄えの美事さに一驚し、同時に『鈴木商店健在なり』を感じ入りました。

大会には喜んで参加させて頂きたい処ですが、時を同じくして東京の縁故に結婚式があり、是非と懇請されていますので残念乍ら、欠席の余儀なきに至って居ります。何卒御寛容賜わりますようお願い申し上げます。

宇佐美篤

万障繰合せ参会致し御祝福申し上げます。上げたき処、何分高令を考え御遠慮申し上げた方が無難と考え、欠席致しますので不悪御許容の程願

をお祈り申し上げます。

金子甚藏

いつも何かとお世話様でございます。残念乍ら欠席させて頂きまず。皆様の御多幸をお祈り致して居ります。

唐戸登美

お便り有難うございました。半月程るすをいたしておりました。折角乍ら欠席させて頂きまず。御盛会をお祈り申し上げます。

木下清三郎

一月二十三日の新年会の時より、楽しみに致しておりましたが、五、一六は毎年定例の祭典のため、乍残念欠席させて頂きまず。

北野浅美

辰巳会お世話になりました。有難くお礼申し上げます。

さすが鈴木商店の同窓会だけありますね。集うもの九十五名、有馬温泉で随一を誇る中の坊瑞苑、

上げます。皆様の御多幸を祈上げます。

宇土芳郎

出来得れば是非出席したいのは山山ですが、八十九才となり余命もなく、私用解決多忙に加え、歩行困難ですので欠席致します。皆様によりしく。

会場は曾って、戦時中金子直吉翁を、理研マグネシウム製造会社に案内しその帰途、有馬温泉に入浴、金子さんの背中を流してあげたことを思い出します。御礼少々御返事まで。

上野金治

目下変形性背腿症にて静養中です。失礼致します。皆様によりしく願ひ申し上げます。

請川 耿

楽しみにしておりましたが偶断われません会合があり失礼致します。

設備は無論、従業員の教育満点でした。絶えて久しくゆっくりとした気分に浸りました。私達元氣な限り来年も参加致します。

二十五周年大会に、桜友会より多数参加致し大変お世話様になりました。鈴木商店時代のことども何かと思ひ出され、まことに懐しい会合となったこと、深く感銘しい感慨無量なものがありました。皆様に呉呉もよろしく。

北尾素子

この度の記念すべき全国大会には是非共出席させて頂き、皆様の御よろこびの御姿を拝見し楽しい時を過ごさせて頂き、楽しんでおりました。練習せのつかない用事が出来ましてまことに残念で御座居りますが欠席させていただきます。

御盛会を心からお祈り申し上げます。

國広五郎

当日は、東京にて仏事先約有り。残念欠席致します。御盛会をお祈り申し上げます。

大松康祐

このところ体調思わしくなく、乍残念欠席させて頂きまず。

大山恭三

当日は親戚の者の結婚式があります。残念乍ら失礼させて頂きまず。

大家 実

大会御案内有難うございます。老来歩行不自由にて旅行困難のため誠に残念乍ら欠席させて頂きまず。

岡本志良

六甲一有馬一宝塚と六十余年前の濃い思出コースに位する出湯、有馬の有名館での宿泊、会合は幸の一語に盡きるものと喜びに耐えません。昨春死亡した家内の写真を同伴にて出席させて頂きまず。

小川多喜子

昨年はお蔭様にて楽しい時を過

窪田音吉

三月頃より腰痛になり体の調子が悪く、思案致しましたが、子供同伴にて何とか参ります。よろしく願ひ申し上げます。

後藤雄太郎

最近又体調を崩して居ります。欠席致しますが皆様の御健康と御幸福をお祈り致します。

桜庭亥一郎

日本最古の温泉、名所旧跡の地と知られる有馬に於いて、盛大に大会が行われることを心からお喜び申し上げます。

阪倉卯三郎

毎毎御案内頂きますが、何分93才の高令聊か無理、不悪御高承下さい。

里井禎次郎

老体と云う程の年令ではありませんが、この所、少々老化の様

庭の花作りが精進です。

食欲が旺盛なだけ取り柄です。

坂本美代

ながらく御無沙汰申し上げます。今年はじめより思わぬ事故で入院し、今は有馬の病院で養生致して居ります。やっと字が書けるようになりました。欠席致しますから宣敷お願い申し上げます。

嶋内桃枝

旧知の会員の方にお目にかかる楽しみは勿論ですが、大阪新千里の息子宅に数日滞在し、孫達と食を共にし且話会い、その成長振りを見るのが最大の喜びで、年中行事の一つの様に大会を待っています。健康の許す限り出席致します。

杉田定雄

いつも御通知有難う存じます。足の調子が悪い為、欠席させて頂きます。

宗 眞足

御案内有難く御礼申し上げます。目下白内障の手術を受けたく検査中です。欠席させて頂きます。果して手術が可能かどうかわかりません。代筆にて失礼します。

武内雪恵

前は校友会で皆様にお目にかかりお世話様になって居りましたが、八十才を過ぎましたので家族や、親類の者がとめますので残念乍ら欠席させて頂きます。

竹内美代

このたびは誠にお芽出度う御さいます。残念乍ら欠席致します。何時も御誌は、楽しく面白く拝見させて頂いて居ります。

竹下富士松

待望の二十五周年一泊大会、企画についてのご配慮、さぞかしと御推察申し上げます。当日迄何のお手伝も出来ませんが御寛容の程をよろしく。

高橋孝吉

当日在京のため欠席致します。御案内有難う存じました。

高木きぬ

亡夫虎之助が全国大会を楽しみにして居りましたので娘と共に出席させて頂きます。

中畔登忠男

病后静養中にて欠席致します。

半田みつ

古出よねさんをはじめ数人のご常連が故人となられまして心淋しく残念乍ら欠席させて頂きます。

畑 薫

残念至極ですが健康上欠席致します。悪しからお許し下さい。

橋本賀一郎

種種お心を煩わし恐縮に存じます。

何とか出席、皆様にお目にかかりたいと考えて居りましたが休日でないので都合がつかせません。不悪お赦し下さい。

藤沢義夫

記念大会の盛大に行われます事を乍ら慶お慶祝申し上げます。

藤岡清俊

当日弊社の行事があり残念乍ら欠席致します。盛会を祈ります皆さんよろしく。

松木三四郎

大変元気で南国の春を楽しんで居ります。当日所用が出来ましたので乍ら残念欠席させて頂きます。

松井竹代

私は85才、元氣いっぱい楽しい毎日ですが、遠い旅行は致しかねます。皆様よろしく。

松本寿賀

大会への御案内誠に有りがとう存じました。是非と考えて居りましたが、先約オーストラリア旅行の出発を五月十八日に控え高令を考へ御辞退を決心致しました。御盛會を念じ上げます。

牧 冬彦

二十五周年記念大会おめでとう存じます。御盛會をお祈りします。社用にて欠席致します。

三木秀介

白馬支部教團の春季例大祭のため欠席致します。

宮田 進

全国大会開催を祝福申し上げます。折角ながら生憎の用件で出席出来兼ね残念です。御盛會を祈ります。

宮永 勉

詢に残念ですが欠席させて頂き

ます。

体調は先づ先づですが、法事と結婚式が数日の間に重っています。悪しからず。

村上寅一郎

老令に加え、足部不良のため欠席させて頂きます。当日は好天気でご盛會である事を祈念致します。

村田須磨子

誠に残念でございますが病氣のため欠席させて頂きます。

村井順三

数えて八十八才、いわゆる米寿ともなれば老化は逃れ難く参加しても皆様に御迷惑かけるのみと存候、皆様の御健康御多幸祈上候。

森田博明

残念乍ら民生委員の行事と重なり出席出来ませんので不悪お許し下さい。身体の方は至って元気で

森 好子

東京の兄達の出席の確約がありませんので残念でございますが欠席致します。

山本錬造

生憎、当日差支えがございますので欠席させていただきます。

山本浜一

記念大会、五月の有馬は青葉若葉の特に美しい折柄、一夜の歓談、誠に有意義、且私も好きな方でございますが、生憎都合がありまして残念乍ら欠席致します。

山口常太郎

生憎、膝痛を治療致して居りますので今回は乍ら残念欠席致します。

柳田直子

折悪しく旅行中でございますので残念乍ら欠席致します。

吉富志那子

有馬の新緑の中、父(故御厨豊次)の面影を観ながら皆様の御面を心にきざみました。柳田様の御気迫は沢山の御名句と重なり合いました。たつみ誌を実感で読ませて頂きます。有難うございました。

★エトルスカの土器(目次)

イタリーからローマ先住人エトルスカの壺には東洋、ギリシャ、エトルスカ、ローマの四系統があつて、ギリシャの水瓶、酒入れ等は両手が付いているもの、当時の時物が彫刻されたものなどがある。

絵は線彫模様ETRUSCA黒色土器(紀元前700〜650年)高15cm